

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

蛋白・膠質反応

総蛋白(TP)(血清)	Gornall AG et al : J Biol Chem 177 : 751 ~ 766, 1949.
総蛋白(TP)(髄液・蓄尿)	田中 雅美,他 : 医療と検査機器・試薬 33 (3) : 393 ~ 397, 2010.
アルブミン(Alb)	浅井 孝道 : 検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
尿中アルブミン	舩方 栄二 : 検査と技術 33 (7) : 625 ~ 630, 2005.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	舩方 栄二 : 検査と技術 33 (7) : 625 ~ 630, 2005.
A/G比	浅井 孝道 : 検査と技術 7 (10) : 815 ~ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤 喜久 : Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
尿中蛋白分画	伊藤 喜久 : Medical Technology 39 (3) : 278 ~ 284, 2011.
クンケル反応(ZTT)	金井 正光,他 : 臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 458, 2015.

酵素および関連物質

CK(CPK)	日本臨床化学会 : 臨床化学 19 (2) : 184 ~ 208, 1990.
CK-MB(CPK-MB)(免疫阻止-UV法)	Wurzburg U et al : Klinische Wochenschrift 54 : 357 ~ 360, 1976.
CK-MB(CPK-MB)(CLIA)	Plran U et al : Clinical Chemistry 33 (9) : 1517 ~ 1520, 1987.
CK(CPK)アイソザイム	高木 康,他 : 臨床検査 32 (11) : 1309 ~ 1315, 1988.
AST(GOT)	日本臨床化学会 : 臨床化学 18 (4) : 226 ~ 230, 1989.
ALT(GPT)	日本臨床化学会 : 臨床化学 18 (4) : 250 ~ 254, 1989.
LD(LDH)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
LD(LDH)アイソザイム	森山 隆則,他 : Medical Technology 25 (1) : 45 ~ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)IFCC	Schumann et al : Clin Chem Lab Med 49 (9) : 1439 ~ 1446, 2011.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤 健太郎,他 : 医学と薬学 55 (2) : 279 ~ 285, 2006.
胎盤型アルカリフォスファターゼ(PLAP)	Shinichiro Watanabe, et al : Pediatr Neurosurg 48 : 141 ~ 145, 2012.
ALPアイソザイム(IFCC)	芝 紀代子 : 目でみる電気泳動法 2 (医歯薬出版) : 55 ~ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	日本臨床化学会酵素専門委員会 : 臨床化学 24 (2) : 106 ~ 121, 1995.
アルドラーゼ	三浦 雅一,他 : 臨床検査機器・試薬 12 (5) : 1005 ~ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	大澤 進,他 : 臨床化学 24 (3) : 138 ~ 145, 1995.
グアナーゼ	手登根 稔,他 : 検査と技術 13 (10) : 901 ~ 905, 1985.
アデノシンデアミナーゼ(ADA)	佐野 史良,他 : 臨床検査機器・試薬 9 (4) : 715 ~ 720, 1986.
ロイシニアミノペプチダーゼ(LAP)	小林 照明,他 : 臨床検査機器・試薬14 (6) : 929 ~ 935, 1991.
アミラーゼ(AMY)	高笠 信之 : The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
アミラーゼアイソザイム	星野 忠,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 37 (3) : 293 ~ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠 信之 : The Chemical Times 201 (3) : 9 ~ 11, 2006.
リパーゼ	宇治 義則,他 : 検査と技術 25 (10) : 819 ~ 824, 1997.
トリプシン	植田 進之介,他 : 医学と薬学 77 (12) : 1659 ~ 1668, 2020.
膵ホスホリパーゼA ₂ (膵PLA ₂)	竹田 昌弘,他 : ホルモンと臨床 38 (7) : 729 ~ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出 勝也,他 : 肝と膵 23 (6) : 477 ~ 480, 2002.
子宮頸管液中 顆粒球エラスターゼ	北村 光,他 : 臨床検査機器・試薬 21 (4) : 357 ~ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢 良記,他 : 医学と薬学 54 (5) : 709 ~ 717, 2005.
リゾチーム	北村 元仕 : 実践臨床化学 増補 : 432 ~ 436, 1982.
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al : Clinical Chemistry 27 (11) : 1922 ~ 1925, 1981.
ペプシノゲン	三木 一正,他 : 医学と薬学 56 (6) : 889 ~ 896, 2006.
MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	氏家 真二,他 : 医学と薬学 67 (5) : 741 ~ 747, 2012.
胃がんリスク層別化検査(ABC分類)(LA)	乾 正幸,他 : 日本ヘリコバクター学会誌 19 (1) : 33 ~ 42, 2017.

低分子窒素化合物

クレアチニン	安原 正善,他 : 臨床検査機器・試薬 17 (1) : 59 ~ 67, 1994.
シスタチンC	Tanaka M, et al : Clinical Biochemistry 37 : 27 ~ 35, 2004.
尿酸(UA)	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第32版(金原出版) : 503 ~ 507, 2005.
尿素窒素(UN)	森下 芳孝 : Medical Technology 26 (6) : 695 ~ 700, 1998.
アンモニア	奥田 拓道,他 : 最新医学 21 (3) : 622 ~ 627, 1966.
アミノ酸分析(39種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会 : 生化学実験講座11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版 : 53 ~ 67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al : Biomedical Chromatography 24 : 683 ~ 691,2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村 俊之,他 : 臨床病理 37 (8) : 911 ~ 917, 1989.
γ-アミノ酪酸(GABA)	Fujiwara M et al : Analytical Biochemistry 166 : 72 ~ 78, 1987.
ハイドロキシプロリン-総	鈴木 隆夫,他 : 日本臨床化学会年会記録 28 : 118, 1988.
血中総ホモシステイン	Christian Hellmuth, et al : Journal of Chromatography B, 879 : 83 ~ 89, 2011.

糖質および関連物質

グルコース	日本臨床化学会試薬専門委員会 : 臨床化学 20 (4) : 247 ~ 254, 1991.
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	水松 良光,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 41 (2) : 215 ~ 220, 2016.
グリコアルブミン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 52 (3) : 403 ~ 412, 2004.

検査項目

測定参考文献

ヒアルロン酸	島村 朗,他:医学と薬学 44 (6):1141~1146,2000.
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	遠藤 輝夫,他:医療と検査機器・試薬 26 (1):45~50,2003.
糖代謝解析	張 春花,他:金医大誌 21:399~410,1996.
シアル酸	水田 亘,他:臨床病理 特(54):128~134,1983.

有機酸

乳酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8 (3):16~24,1985.
ビルビン酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8 (3):16~24,1985.
尿中シュウ酸	小川 由英,他:腎と透析 臨増:151~157,1997.
血中ケトン体分画	西ヶ谷 晴美,他:医学検査 45 (3):353,1996.
アセトン定量	深掘 すみ江,他:労働科学 59 (12):555~562,1983.
有機酸スクリーニング検査	河野 芳功,他:日本小児科学会雑誌 89 (10):2327~2334,1985.

脂質および関連物質

中性脂肪(TG)	Tamaoku K et al : Chem Pharm Bull 30 (7) : 2492 ~ 2497, 1982.
リン脂質	Takayama M et al : Clinica Chimica Acta 79 : 93 ~ 98, 1977.
遊離脂肪酸(NEFA)	Sugo S, et al : Clinical Chemistry 36 (1) : 163, 1990.
総コレステロール(T-Cho)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版) : 512, 2015.
エステル型コレステロール(Echo)	Richmond W : Clinical Chemistry 19 (12) : 1350 ~ 1356, 1973.
遊離コレステロール(F-Cho)	Richmond W : Clinical Chemistry 19 (12) : 1350 ~ 1356, 1973.
コレステロールエステル比	Richmond W : Clinical Chemistry 19 (12) : 1350 ~ 1356, 1973.
HDL-コレステロール	田口 隆由,他:臨床検査機器・試薬 24 (1) : 35 ~ 41, 2001.
HDL _{2,3} コレステロール	Bronzert TJ et al : Clinical Chemistry 23 (11) : 2089 ~ 2098, 1977.
LDL-コレステロール	菅野 剛史,他:医学と薬学 37 (3) : 635 ~ 644, 1997.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石 千早,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1) : 83 ~ 87, 2010.
sd LDL-コレステロール	伊藤 康樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 37 (1) : 10 ~ 16, 2012.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫:酸化ストレスマーカー 学術出版センター : 243 ~ 246, 2005.
sd LDL-C(健診)	伊藤 康樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 37 (1) : 10 ~ 16, 2012.
脂肪酸分画(24成分)	小沢 昭夫,他:分析化学 31 : 87 ~ 91, 1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢 昭夫,他:分析化学 31 : 87 ~ 91, 1982.
極長鎖脂肪酸	小池 亮子:小児科診療 53 (増) : 394 ~ 397, 1990.
総胆汁酸	今野 稔:臨床検査機器・試薬 16 (3) : 472 ~ 479, 1993.
β-リポ蛋白	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版) : 548, 2005.
リポ蛋白分画(アガロースゲル電気泳動法)	芝 紀代子:目でみる電気泳動法2 : 91 ~ 99, 1989.
コレステロール分画	櫻林 郁之介,他:HDL-コレステロール基礎と臨床 (株)テクノ : 207 ~ 220, 1980.
リポ蛋白(a)	岡野 芳幸,他:日本臨床検査自動化学会誌 21 (5) : 705 ~ 709, 1996.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al : Clinica Chimica Acta 216 : 113 ~ 123, 1993.
アポリポ蛋白 A-I	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4) : 334, 1987.
アポリポ蛋白 A-II	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4) : 334, 1987.
アポリポ蛋白 B	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4) : 334, 1987.
アポリポ蛋白 C-II	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4) : 334, 1987.
アポリポ蛋白 C-III	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4) : 334, 1987.
アポリポ蛋白 E	岡崎 伸次,他:日本臨床検査自動化学会誌 12 (4) : 334, 1987.
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	片岡 伸久朗,他:臨床検査 37 (12) : 1267 ~ 1271, 1993.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木 卓,他:医学と薬学 71 (1) : 161 ~ 166, 2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	土居 耕介,他:医学と薬学 78 (3) : 261 ~ 267, 2021.

ビタミンおよび関連物質

β-カロチン	加美山 茂利,他:臨床検査 31 (3) : 268 ~ 274, 1987.
ビタミンA	須原 聡,他:臨床検査 36 (3) : 235 ~ 239, 1992.
ビタミンB ₁	宮川 秀則,他:生物試料分析 36 (4) : 327 ~ 330, 2013.
ビタミンB ₂	大石 誠子:ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法(化学同人) : 71 ~ 80, 1989.
ビタミンB ₆	吉田 継親,他:薬学雑誌 98 (10) : 1319 ~ 1326, 1978.
ビタミンB ₁₂	伊森 誠,他:医療と検査機器・試薬 27 (3) : 215 ~ 221, 2004.
カルニチン分画	伊丹 儀友,他:臨床検査58 (5) : 651 ~ 658, 2014.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al : Analytical Biochemistry 229 : 329~335, 1995.
25OHビタミンD(骨粗鬆症)	小島 哲:臨床化学 48 (3) : 239 ~ 244, 2019.
25ヒドロキシビタミンD(くる病・骨軟化症)	小島 哲:臨床化学 48 (3) : 239 ~ 244, 2019.
1,25-(OH) ₂ ビタミンD	Fraser WD et al : Ann Clin Biochem 34 : 632~637, 1997.
ビタミンE	阿部 皓一,他:栄養と食糧 28 (5) : 277 ~ 280, 1975.
ビタミンE分画	阿部 皓一,他:ビタミン 49 (7) : 259 ~ 263, 1975.
ビタミンK分画	langenbergh JP et al : Journal of Chromatography 305 : 61 ~ 72, 1984.
葉酸	西村 和子,他:生物試料分析 35 (4) : 299 ~ 308, 2012.
ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢 滋:ビタミン 56 (9・10) : 487 ~ 499, 1982.

検査項目

測定参考文献

電解質・血液ガス

Na(ナトリウム)	桑 克彦：臨床検査 34 (11)：1353～1358, 1990.
K(カリウム)	桑 克彦：臨床検査 34 (11)：1353～1358, 1990. 高橋 勝幸：検査と技術 20 (6)：106～110, 1992.
Cl(クロール)	関口 光夫：検査と技術 17 (9)：1167～1172, 1989. 桑 克彦：臨床検査 34 (11)：1353～1358, 1990.
Mg(マグネシウム)	北村 元仕：実践臨床化学 1版(医歯薬出版)：166～171, 1974.
Ca(カルシウム)	根占 哲也：都臨技会誌 34 (5)：270～281, 2006.
イオン化カルシウム	桑 克彦：検査と技術 19 (2)：119～124, 1991.
P(無機リン)	Drewes PA：Clinica Chimica Acta 39：81～88, 1972.
浸透圧	鈴木 明,他：検査と技術 6 (9)：759～762, 1978.

生体微量金属

鉄(Fe)(血清)	荒明 洋,他：臨床検査機器・試薬 6 (2)：359～366, 1983.
鉄(Fe)(尿)	溝口 秀昭：臨床医 8 (10)：1624～1626, 1982.
総鉄結合能(TIBC)	荒明 洋,他：臨床検査機器・試薬 6 (2)：359～366, 1983.
不飽和鉄結合能(UIBC)	荒明 洋,他：臨床検査機器・試薬 6 (2)：359～366, 1983.
Cu(銅)(血清)	Abe A et al：Clinical Chemistry 35 (4)：552～554, 1989.
Cu(銅)(尿)	Ichida T et al：Clinica Chimica Acta 24：299～303, 1969.
Zn(亜鉛)(血清)	井上 哲,他：医療と検査機器・試薬 41 (3)：283～287, 2018.
Zn(亜鉛)(尿)	Meret S et al：Clinical Chemistry 17 (5)：369～373, 1971.

生体色素関連物質

総ビリルビン(T-Bil)	徳田 邦明,他：臨床化学 22 (2)：116～122, 1993.
ビリルビン分画(直接, 間接)	徳田 邦明,他：臨床化学 22 (2)：116～122, 1993.
コプロポルフィリン 定性	近藤 雅雄：日本臨牀 53 (6)：1377～1382, 1995.
コプロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄：日本臨牀 53 (6)：1377～1382, 1995.
コプロポルフィリン(血液)	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26 (13)：1832～1835, 1980.
ウロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄：日本臨牀 53 (6)：1377～1382, 1995.
ウロポルフィリン(血液)	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26 (13)：1832～1835, 1980.
プロトポルフィリン	Salmi M et al：Clinical Chemistry 26 (13)：1832～1835, 1980.
δ -アミノレブリン酸(δ ALA)	園藤 陽子,他：産業医学 35：126～127, 1993.

毒物・産業医学的代謝物質

尿中総三塩化物 トリクロルエチレン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中総三塩化物 1・1・1-トリクロルエタン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中総三塩化物 テトラクロルエチレン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 トリクロルエチレン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 1・1・1-トリクロルエタン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 テトラクロルエチレン	城山 康,他：松仁会医誌 25 (2)：225～231, 1986.
尿中馬尿酸	岸浪 菊江子,他：臨床化学 17 (3)：128～135, 1988.
尿中メチル馬尿酸	岸浪 菊江子,他：臨床化学 17 (3)：128～135, 1988.
尿中スチレン代謝物	岸浪 菊江子,他：臨床化学 17 (3)：128～135, 1988.
尿中マンデル酸エチルベンゼン	岸浪 菊江子,他：臨床化学 17 (3)：128～135, 1988.
尿中N-メチルホルムアミド	Mraz J et al：Journal of Chromatography 414：399～404, 1987.
尿中2,5-ヘキサジオン	Iwata M et al：Int Arch Occup Environ Health 51：253～260, 1983.
アルミニウム(Al)	Oster O：Clinica Chimica Acta 114：53～60, 1981.
クロム	松岡 澄：産業医学 13 (6)：525～537, 1971. 田中 俊行,他：医学と生物学 101 (5)：277～281, 1980.
カドミウム	Lagesson V et al：Clinical Chemistry 25 (11)：1948～1953, 1979.
マンガン	Tsalev DL et al：Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17 (6)：660～666, 1977.

生化学(その他)

ネオプテリン	Hausen A et al：Journal of Chromatography 227：61～70, 1982.
エタノール	馬嶋 正隆,他：北里医学 14：424～430, 1984.
イヌリン定量	木全 伸介,他：医療と検査機器・試薬 28 (2)：143～149, 2005.
結石分析(成分比率)	神 ちひろ,他：分析化学 53 (7)：735～741, 2004.

抗菌薬

アミカシン	木村 英樹,他：日本臨床検査自動化学会誌 33 (5)：860～864, 2008.
トブラマイシン	木村 英樹,他：日本臨床検査自動化学会誌 33 (5)：860～864, 2008.
ゲンタマイシン	石橋 みどり,他：医学と薬学 42 (6)：1061～1074, 1999.
バンコマイシン	石澤 春美,他：栃木県臨床衛生検査技師会雑誌 8 (2)：103～107, 2013.
テイコプラニン	諸岡 美里,他：日本臨床検査自動化学会誌 38 (1)：79～82, 2013.

検査項目

測定参考文献

抗てんかん薬

カルバマゼピン	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
ジアゼパム	Brodie RR et al: Journal of Chromatography 150:361~366,1978.
エトスクシミド	宮本 侃治:臨床化学 6 (3):202~211,1978.
フェノバルビタール	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
フェニトイン	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
プリミドン	宮本 侃治:臨床化学 6 (3):202~211,1978.
バルプロ酸	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
トリメタジオン	斉藤 正行,他:ドラッグレベルモニタリング 治療への臨床化学的アプローチ:100~110,1982.
ゾニサミド	安田 真依,他:医療と検査機器・試薬 38 (2):205~210,2015.
トピラマート	Matar, K M: Clinica Chimica Acta 411:729~734,2010.
レベチラセタム	Mendu, D R, Soldin S J: Clinical Biochemistry 43:485~489,2010.
スチリベンツール	Deeb S, et al: J Anal Toxicol 38 (8):485~494,2014.
ルフィナミド	Deeb S, et al: J Anal Toxicol 38 (8):485~494,2014.
ペランパネル	Mano Y, et al: J Pharm Biomed Anal 107:56~62,2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al: Bioanalysis 6 (23):3161~3168,2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al: ドラッグレベルモニタリング:90~91,1982.

免疫抑制薬

シクロスポリン	古屋 実,他:医学と薬学 70 (5・6):961~973,2013.
タクロリムス	古屋 実,他:医学と薬学 70 (5・6):961~973,2013.
ミコフェノール酸	細坪 秀夫,他:今日の移植 14 (4):485~491,2001.

循環器用薬

ジゴキシン	水内 由利,他:医学と薬学 35 (4):847~851,1996.
ジソピラミド	扇谷 茂樹,他:臨床検査機器・試薬 6 (2):520~523,1983.
リドカイン	宮本 侃治:臨床化学 6 (3):202~211,1978.
プロカイナムイド	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.
プロプラノロール	Ahnoff M et al: Journal of Chromatography 340:73~138,1985.
ビルメノール	市川 林,他:臨床医薬 11 (4):903~906,1995.
キニジン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.

精神神経用剤

ハロペリドール	白井 晶子,他:医学と薬学 49 (6):1011~1017,2003.
ブロムペリドール	白井 晶子,他:医学と薬学 50 (1):101~107,2003.
リチウム	細羽 恵美子,他:臨床化学 46 (1):39~46,2017.

薬物(その他)

アセトアミノフェン	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.
テオフィリン	石橋 みどり,他:医学と薬学 42 (6):1061~1074,1999.
サリチル酸	木村 英樹,他:日本臨床検査自動化学会誌 33 (5):860~864,2008.
ヘパリン	Teien A et al: Thrombosis Reseach 8 (3):413~416,1976.
メトトレキサート	中原 佑香里,他:医学と薬学 72 (4):761~767,2015.
イマチニブ	Bakhtiar R, et al: Journal of Chromatography B 768:325~340,2002.

血液一般・形態検査

末梢血液一般検査	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
網状赤血球数	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
好酸球数	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):265~295,2005.
末梢血液像	西 国広,他:血液形態観察のすすめ方 第2版:1~288,1995.
鼻汁好酸球	巽 典之,他:自動血液検査品質保証論:26~27,2005.
	奥田 稔:臨床検査 29 (3):267~272,1985.

凝固・線溶関連検査

活性化部分 トロンボプラスチン時間(APTT)	日野 志郎:臨床検査講座 15 血液学:244~250,1984.
プロトロンビン時間(PT)	高宮 脩:臨床検査機器・試薬 17 (6):1079~1085,1994.
フィブリノーゲン(FIB)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第32版(金原出版):358~360,2010.
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	八戸 雅孝,他:臨床病理 60 (12)別冊:1139~1144,2012.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤 澄悦,他:医学と薬学 48 (4):595~599,2002.
FDP定量(血漿)	長野 美恵子,他:医療と検査機器・試薬 27 (1):23~29,2004.
FDP定量(尿)	堀内 伸純,他:臨床検査機器・試薬 14 (2):267~270,1991.
Dダイマー	大石 彩,他:Sysmex Journal Web 17 (4):1~10,2016.
プロトロンビンフラグメントF1+2	Pelzer H, et al: Thrombosis and Haemostasis 65 (2):153~159,1991.
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	Scully MF et al: Clinica Chimica Acta 79:595~602,1977.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	木村 真波,他:医療と検査機器・試薬 33 (4): 525~533, 2010.
プラスミノゲン	Friberger P et al: Haemostasis 7: 138~145, 1978.
アンチプラスミン(α_2 プラスミンインヒター)	Friberger P et al: Haemostasis 7: 138~145, 1978.
α_2 プラスミンインヒター・プラスミン複合体(PICテスト)	徐 吉夫,他:臨床検査機器・試薬 16 (6): 1107~1113, 1993.
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	菅我部 万紀,他:医学のあゆみ 173 (12): 997~998, 1995.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)(合成基質法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版): 407~410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)(合成基質法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第34版(金原出版): 407~410, 2015.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629~633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629~633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629~633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629~633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629~633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629~633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅺ因子(F11)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629~633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F12)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6): 629~633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F13)	Fickenscher K et al: Thrombosis and Haemostasis 65 (5): 535~540, 1991.
凝固抑制因子検査 第Ⅶ(8)因子	Sirridge MS et al: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd: 196~198, 1983.
凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子	Sirridge MS et al: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd: 196~198, 1983.
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	Macfarlane DE et al: Thrombosis Diathesis Haemorrh 34: 306~308, 1975.
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	Susan Oliver et al: international journal of laboratory hematology 41 (6): 762~771, 2019.
ADAMTS13-活性	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56 (1): 27~35, 2010.
ADAMTS13 インヒター	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56 (1): 27~35, 2010.
β -トロンボグロブリン(β -TG)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18 (4): 326~335, 1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18 (4): 326~335, 1987.
プロテインC(抗原量)	筒井 聡明,他:検査と技術 12 (7): 581~587, 1984.
プロテインC活性	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5): 621~626, 2016.
プロテインS(抗原量)	安藤 秀実,他:医療と検査機器・試薬 41 (5): 509~519, 2018.
プロテインS活性	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5): 621~626, 2016.
プロテインS(遊離型抗原量)	安藤 秀実,他:医療と検査機器・試薬 41 (5): 509~519, 2018.
トロンボモジュリン	小野 真弓,他:日本臨床検査自動化学会誌 38 (1): 114~117, 2013.

視床下部・下垂体ホルモン

成長ホルモン(GH)	小山 沙世,他:医学と薬学 68 (5): 899~910, 2012.
プロラクチン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819~830, 2017.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819~830, 2017.
黄体形成ホルモン(LH)	皆方 良介,他:臨床検査機器・試薬 22 (5): 429~438, 1999.
卵巣刺激ホルモン(FSH)	皆方 良介,他:臨床検査機器・試薬 22 (5): 429~438, 1999.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)[CLEIA]IFCC	北川 亘,他:医学と薬学 78 (1): 59~70, 2021.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中 誠仁,他:医学と薬学 72 (8): 1379~1388, 2015.

甲状腺ホルモンおよび結合蛋白

遊離トリヨードサイロニン(Free T ₃)[CLEIA]	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793~804, 2020.
遊離サイロキシニン(Free T ₄)[CLEIA]	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793~804, 2020.
サイログロブリン(CLEIA)	北村 由之,他:医学と薬学 77 (12): 1683~1690, 2020.

副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	猪俣 啓子,他:医学と薬学 74 (1): 45~54, 2017.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山 和重,他:医学と薬学 70 (4): 829~836, 2013.
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本 誠二,他:ホルモンと臨床 40 (12): 1309~1314, 1992.
カルシトニン	北川 亘,他:医学と薬学 72 (1): 97~108, 2015.

副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

血中11-OHCS	宇田川 美佐子,他:臨床化学 5 (3): 321~325, 1977.
コルチゾール	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819~830, 2017.
尿中コルチゾール	関口 昌江,他:医学と薬学 69 (6): 985~991, 2013.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸 梨恵,他:医学と薬学 56 (3): 443~448, 2006.
17 α -ヒドロキシプロゲステロン(生後4ヵ月以下)	柳瀬 里美,他:医学と薬学 78 (4): 461~466, 2021.
17 α -ヒドロキシプロゲステロン(生後5ヵ月以上)	柳瀬 里美,他:医学と薬学 78 (4): 461~466, 2021.

副腎髄質ホルモン

カテコールアミン総	Honda S et al: Analytica Chimica Acta 149: 297~303, 1983.
カテコールアミン3分画(血漿)	辻 潮,他:臨床検査機器・試薬 11 (4): 635~641, 1988.
カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al: Analytica Chimica Acta 149: 297~303, 1983.
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	Clark ZD, et al: Journal of Chromatography B 879 (31): 3673~3680, 2011.

検査項目	測定参考文献
L-ドーパ	守 和子:産業医学 17:170~171,1975.
ドーパミン総	守 和子:産業医学 17:170~171,1975.
HVA	Gironi A et al: Clinical Chemistry 34 (12): 2504~2506, 1988.
VMA	Gironi A et al: Clinical Chemistry 34 (12): 2504~2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al: Gastroenterology 88: 86~89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al: Journal of Chromatography 427: 326~330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島 司,他:臨床化学 21 (2): 119~126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al: Clinical Chemistry 31 (11): 1849~1854, 1985.
MHPG	宮川 富三雄:蛋白質核酸酵素 26 (9): 1089~1098, 1981.
性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白	
エストラジオール(E ₂)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819~830, 2017.
IVF-エストラジオール(E ₂)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819~830, 2017.
プロゲステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819~830, 2017.
IVF-プロゲステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819~830, 2017.
プレグナンジオール	平井 利生,他:日本臨床検査自動化学会誌 9 (2): 564~567, 1984.
プレグナントリオール	平井 利生,他:日本臨床検査自動化学会誌 9 (2): 564~567, 1984.
テストステロン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 819~830, 2017.
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	Cole LA et al: Clinical Chemistry 47 (2): 308~315, 2001.
遊離HCG-β(HCG-βサブユニット)	Cole LA: Clinical Chemistry 43 (12): 2233~2243, 1997.
抗ミュー管ホルモン(AMH)(CLEIA)	浅田 義正,他:医学と薬学 76 (10): 1527~1532, 2019.
膵・消化管ホルモン	
インスリン	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5): 479~484, 2006.
C-ペプチド(CPR)	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5): 485~491, 2006.
膵グルカゴン	稲垣 貴之,他:医学と薬学 72 (3): 491~497, 2015.
ガストリン	花石 智子,他:医学と薬学 80 (5): 513~520, 2023.
内分泌学的(その他)	
アルドステロン(CLEIA)	佐藤 文俊,他:医学と薬学 76 (12): 1819~1826, 2019.
レニン濃度(ARC)(CLEIA)	佐藤 文俊,他:医学と薬学 76 (12): 1827~1832, 2019.
レニン活性(PRA)(EIA)	宇津 貴史,他:医学と薬学 73 (3): 311~321, 2016.
サイクリックAMP	孫 孝義,他:日本内分科学会雑誌 61 (9): 912~923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	浜 典男,他:基礎と臨床 25 (13): 4205~4212, 1991.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	伊藤 洋子,他:医学と薬学 64 (6): 931~939, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5): 607~617, 2017.
エリスロポエチン	増田 詩織,他:医学と薬学 67 (2): 297~306, 2012.
オステオカルシン	吉村 典子,他:Osteoporosis Japan 13 (3): 759~765, 2005.
低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	西村 順,他:医学と薬学 57 (4): 523~535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他:臨床検査 35 (13): 1360~1364, 1991.
FGF23 (CLEIA)	和泉 裕一,他:医療と検査機器・試薬 42 (3): 219~224, 2019.
アディポネクチン(LA)	Nishimura A. et al: Clinica Chimica Acta 371: 163~168, 2006.
レプチン(ELISA)	小川 佳宏,他:医学と薬学 77 (5): 1~8, 2020.
sFit-1/PIGF比	Stefan Verlohren, et al: American Journal of Obstetrics Gynecology 202 (2): 161. e1~161. e11, 2009.
腫瘍関連抗原	
癌胎児性抗原(CEA)	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897~907, 2006.
α-フェトプロテイン定量	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897~907, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽 光弘,他:臨床病理 36 (9): 1039~1044, 1988.
CA125	黒田 雅頭:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589~596, 2006.
CA15-3	黒田 雅頭:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589~596, 2006.
BCA225	小林 美耶子,他:医学と薬学 72 (7): 1249~1259, 2015.
CA19-9	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897~907, 2006.
CA72-4	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831~840, 2017.
シアリルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 16 (9): 3213~3219, 1989.
CA54/61	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19 (12): 2085~2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林 郁之介,他:臨床病理 34 (6): 705~710, 1986.
シアリルLe ^x -抗原(SLX)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 14 (5): 1315~1321, 1987.
シアリルLe ^x 抗原(CSLEX)	三嶋 芳樹,他:医学と薬学 29 (5): 1193~1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡 久,他:臨床病理 35 (11): 1233~1238, 1987.
SPan-1	梅山 馨,他:脾臓 3 (4): 528~539, 1988.
SCC	林 圭織,他:医学と薬学 76 (12): 1809~1818, 2019.
前立腺特異抗原(PSA)	細羽 恵美子,他:医学と薬学 76 (11): 1635~1641, 2019.
γ-セミノプロテイン(γ-Sm)	佐藤 達郎,他:医学と薬学 43 (1): 97~106, 2000.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	黒田 雅頭: 医療と検査機器・試薬 29 (6): 597 ~ 602, 2006.
5-S-システニルドーパ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al: Clinical Chemistry 40 (3): 495 ~ 496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	矢田 紗世,他: 医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
PIVKA-II	古谷 桃子,他: 医学検査 68 (1): 56 ~ 60, 2019.
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本 典江,他: 医療と検査機器・試薬 32 (2): 263 ~ 267, 2009.
血清抗p53抗体	橋本 礼輔,他: 医学と薬学 75 (8): 955 ~ 964, 2018.
血清 HER2タンパク	Luftner D, et al: The International Journal of Biological Markers 19 (3): 175 ~ 182, 2004.
可溶性メソテリン関連ペプチド	中町 衛,他: 医学と薬学 65 (2): 261 ~ 267, 2011.
CCR4タンパク(FCM)	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会: 日本臨床検査標準協議会会報 18 (2): 69 ~ 107, 2003.

ウイルス感染症検査

HBVゲノタイプ	田中 靖人,他: 臨床病理 57 (1): 42 ~ 47, 2009.
HBV DNA定量(IU)	菅原 昌章,他: 医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HBs抗原(HQ)	戸来 孝,他: 医学と薬学 72 (9): 1569 ~ 1577, 2015.
HBs抗体(CLEIA)	根根 久美子,他: 臨床病理 63 (8): 907 ~ 912, 2015.
HBs抗体	蒲池 正次,他: 臨床検査機器・試薬 17 (6): 1173 ~ 1180, 1994.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	Inoue T, et al: J Hepatol 75 (2): 302 ~ 310, 2021.
HBc抗体(IgG)	八橋 弘,他: 医学と薬学 66 (6): 1075 ~ 1081, 2011.
IgM-HBc抗体	熊谷 保之: 日本臨床検査自動化学会誌 25 (1): 70 ~ 74, 2000.
HBc抗体	森藤 隆夫,他: 臨床病理 特(67): 101 ~ 108, 1986.
HA抗体	矢野 公土,他: 医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
IgM-HA抗体	矢野 公土,他: 医学と薬学 58 (1): 151 ~ 161, 2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川 瞳,他: 医学と薬学70 (3): 633 ~ 641, 2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al: Journal of Clinical Microbiology 35 (1): 201 ~ 207, 1997.
HCV RNA定量	菅原 昌章,他: 医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原 和子,他: 日本臨床検査自動化学会誌 36 (2): 267 ~ 274, 2011.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野 四郎,他: 医学と薬学 53 (4): 461 ~ 469, 2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤 裕孝,他: 感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤 裕孝,他: 感染症学雑誌 69 (10): 1135 ~ 1140, 1995.
ヒトパルボウイルスB19DNA 定性	Sevall JS: Molecular and Cellular Probes 4: 237 ~ 246, 1990.
ヒトパピローマウイルスDNA(16型,18型,その他ハイリスクグループ)	三浦 俊昭,他: 医学と薬学 69 (1): 157 ~ 162, 2013.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	Clavel C et al: Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	Ko. V et al: Cancer Cytopathology 108 (6): 468 ~ 474, 2006.
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎 聡,他: 臨床病理 60 (7): 621 ~ 626, 2012.
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	Clavel C et al: Diagnostic Molecular Pathology 9 (3): 145 ~ 150, 2000.
アデノウイルス	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
アデノウイルスDNA 定性	Hierholzer JC et al: Journal of Clinical Microbiology 31 (7): 1886 ~ 1891, 1993.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名 尚,他: 感染症学雑誌 61 (9): 1030 ~ 1037, 1987.
単純ヘルペスウイルス	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
単純ヘルペスウイルス IgG	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス IgM	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 48 ~ 61, 1987.
単純ヘルペスウイルス DNA 定性	Cao M et al: J Invest Dermatol 82: 391 ~ 392, 1989.
単純ヘルペスウイルス DNA定量	Stevens J: 実験医学 15 (7S): 728 ~ 733, 1997.
単純ヘルペスウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版(丸善): 260 ~ 274, 1973.
単純ヘルペスウイルス 1型・2型-IgG	林 伸英,他: 生物試料分析 36 (3): 229 ~ 234, 2013.
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原	新村 真人,他: 感染症学雑誌 64 (2): 195 ~ 201, 1990.
水痘・帯状疱疹ウイルス	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル(文光堂): 880 ~ 886, 1988.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgG	吉田 晃,他: 臨床とウイルス 13 (4): 490 ~ 496, 1985.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgM	平野 勝,他: 医学と薬学 42 (4): 641 ~ 645, 1999.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤 良,他: 日本臨床 50 (特別号): 160 ~ 165, 1992.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	Kimura H et al: The Journal of Infectious Diseases 178: 310 ~ 317, 1998.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C10,C11)	浅井 隆善,他: 今日の移植 7 (6): 553 ~ 559, 1994.

検査項目

測定参考文献

サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	権藤 久司,他:臨床血液 34 (11):1438~1444, 1993.
サイトメガロウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886, 1988.
サイトメガロウイルス IgG	熊田 洋高,他:医学と薬学72 (6):1087~1094, 2015.
サイトメガロウイルス IgM	熊田 洋高,他:医学と薬学72 (6):1087~1094, 2015.
サイトメガロウイルスDNA 定性	Olive DM et al : Journal of Clinical Microbiology 27 (6) : 1238 ~ 1242, 1989.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y, et al : Nat Methods 4 (3) : 257 ~ 262, 2007.
サイトメガロウイルス核酸定量	森 沙耶香,他:医学と薬学 77 (8) : 1181~1188, 2020.
EBウイルスDNA 定量	Kimura H, et al : J Clin Microbiol 37 (1) : 132 ~ 136, 1999.
EBウイルスDNA(クロナリティ)	Raab-Traub N et al : Cell 47 : 883 ~ 889, 1986.
EBウイルス 抗VCA IgG(EIA)	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgG(FA)	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgM(EIA)	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgM(FA)	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼 頼夫,他:臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口 宏,他:医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤 一博,他:蛋白質核酸酵素 35 (17) : 3041 ~ 3047, 1990.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA定量	Tanaka N et al : Bone Marrow Transplantation 26 : 1193 ~ 1197, 2000.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al : Archives of Virology 136 : 183 ~ 190, 1994.
エンテロウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エンテロウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群5型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886, 1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886, 1988.
コクサッキーウイルス B群2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス B群2型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886, 1988.
コクサッキーウイルス B群3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス B群3型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886, 1988.
コクサッキーウイルス B群4型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス B群4型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886, 1988.
コクサッキーウイルス B群5型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス B群5型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886, 1988.
コクサッキーウイルス B群6型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
コクサッキーウイルス B群6型(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886, 1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 7型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 11型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 12型(NT)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274, 1973.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAr株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81～97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
風疹ウイルス IgM	佐藤 俊則,他：臨床とウイルス 23 (1)：44～47, 1995.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
インフルエンザウイルス B型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
インフルエンザウイルス B型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
パラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
RSウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
RSウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
ムンプスウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：214～225, 1973.
ムンプスウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版(丸善)：260～274, 1973.
ムンプスウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	尾崎 隆男,他：臨床とウイルス 50 (3)：129～133, 2022.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
HTLV-I (ATLV) 抗体(CLEIA)	植柳 泰,他：医学と薬学 73 (8)：1031～1035, 2016.
HTLV-1抗体	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5 (1)：45～49, 1998.
HTLV-1核酸検出 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-I (ATLV) プロウイルスDNA(クロナリティ)	渡辺 俊樹,他：Meidical Immunology 16 (6)：785～791, 1988.
HIV-1RNA定量	目崎 和久,他：医学と薬学 73 (6)：705～709, 2016.
HIV-1/2特異抗体	Kondo M, et al：PLoS ONE 13 (10) e0198924：1～10, 2018.
HIV抗原・抗体	桜庭 尚哉,他：医学と薬学 65 (5)：663～672, 2011.
ノロウイルス抗原	田中 智之：医学と薬学 61 (1)：93～98, 2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41 (4)：1548～1557, 2003.

感染症(非ウイルス)関連検査

クラミジアトラコマトリス IgA	梶原 祥子,他：医学と薬学37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリス IgG	梶原 祥子,他：医学と薬学37 (3)：711～719, 1997.
クラミジアトラコマトリスDNA	熊本 悦明,他：医学と薬学 66 (6)：1007～1014, 2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジアシッタシ)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：62～75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本 明：第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下 修行,他：小児科診療 71 (1)：95～99, 2008
抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO)	伊藤 忠一：臨床検査 39 (6)：685～688, 1995.
エンドトキシン定量	土谷 正和,他：日本細菌学雑誌 45 (6)：903～911, 1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢 真紀,他：腎と透析 55 別冊：68～70, 2003.
百日咳抗体(EIA)	岡田 賢司：医学と薬学 65 (4)：531～536, 2011.
抗ヘリコバクターピロリ抗体(LA)	乾 正幸,他：日本ヘリコバクター学会誌 19 (1)：33～42, 2017.
便中ヘリコバクターピロリ抗原	朝日 佳代子,他：医学と薬学 57 (2)：253～260, 2007.
梅毒定性 RPR(LA)	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定量 RPR(LA)	桜庭 尚哉：医学と薬学 63 (1)：103～109, 2010.
梅毒定量 RPR法	福岡 良男：新訂臨床検査講座23 臨床免疫学(医歯薬出版)：361～364, 1997.
梅毒定性 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33 (1)：89～95, 2010.
梅毒定量 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他：医療と検査機器・試薬 33 (1)：89～95, 2010.
梅毒定量 TPHA	出口 松夫,他：感染症学雑誌 68 (10)：1271～1277, 1994.
FTA-ABS	山屋 駿一：微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版：H83～H91, 1995.
寒冷凝集反応	原島 典子,他：衛生検査 27 (1)：67～71, 1978.
マイコプラズマニューモニエ(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル(文光堂)：880～886, 1988.

検査項目

測定参考文献

マイコプラズマニューモニエ(PA)	大関 トシイ,他:自治医科大学臨床検査技師年報 12: 62 ~ 64, 1988.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカトー IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカトー IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本 正悟:臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
クリプトコックス・ネオフォルマンス抗原	篠田 孝子,他:真菌と真菌症 30 (3): 211 ~ 221, 1989.
カンジダマンナン抗原	新崎 晃弘,他:臨床検査機器・試薬 23 (3): 197 ~ 203, 2000.
アスペルギルス抗原	見手倉 久治,他:医学と薬学 42 (1): 207 ~ 212, 1999.
β -D-グルカン	吉田 耕一郎,他:医学と薬学 67 (6): 895 ~ 902, 2012.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅 修司,他:日本呼吸器学会誌 39 (1): 7 ~ 11, 2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
結核菌特異的IFN- γ	Meier T, et al: European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases 24: 529 ~ 536, 2005.
MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	Kitada S, et al: AMERICAN JOURNAL OF Respiratory and Critical Care Medicine 177 (1): 793~797, 2008.

自己免疫関連検査

抗核抗体(ANA)	東條 毅:臨床検査 30 (7): 687 ~ 692, 1986.
抗DNA抗体(RIA)	鈴木 王洋,他:臨床免疫 25 (8): 1096 ~ 1102, 1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他:医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗Sm抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Sm抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗RNP抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗RNP抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-B/La抗体(CLEIA)	西山 進,他:医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗Scl-70抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1): 109 ~ 117, 2013.
抗RNAポリメラーゼIII抗体	桑名 正隆:リウマチ科 40 (3): 239 ~ 245, 2008.
抗セントロメア抗体	小島 和夫,他:医学と薬学 69 (4): 677 ~ 687, 2013.
抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	西海 正彦:臨床検査機器・試薬 13 (4): 835 ~ 838, 1990.
抗Jo-1抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70 (1): 109 ~ 117, 2013.
抗ARS抗体	山田 祐介,他:リウマチ科 45 (2): 133 ~ 138, 2011.
抗MDA5抗体	Sato S, et al: PLoS One. 11 (4): e0154285, 2016.
抗Mi-2抗体	Fujimoto M, et al: J Dermatol Sci. 84 (3): 272 ~ 281, 2016.
抗TIF1- γ 抗体	Fujimoto M, et al: J Dermatol Sci. 84 (3): 272 ~ 281, 2016.
リウマチ因子(RF) 定量	鬼塚 聖子,他:日本臨床検査自動化学会誌 35 (1): 17 ~ 22, 2010.
IgG型リウマチ因子	中園 清:医学と薬学 45 (3): 481 ~ 486, 2001.
抗カラクトース欠損IgG抗体	平山 吉郎,他:医学と薬学 42 (5): 817 ~ 828, 1999.
抗シトルリン化ペプチド(CCP)抗体	山下 里美,他:医学と薬学 66 (3): 569 ~ 576, 2011.
抗ミトコンドリア抗体	山内 進:臨床免疫 7 (7): 825 ~ 830, 1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野 瑞木,他:医学と薬学 67 (3): 485 ~ 495, 2012.
抗平滑筋抗体	山内 進:臨床免疫 7 (7): 825 ~ 830, 1975.
抗胃壁細胞抗体	山内 進:衛生検査 22 (12): 1085 ~ 1089, 1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A. Gomez et al: Clinical Chemistry 51 (1): 232 ~ 235, 2005.
ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン(LRG)	高山 茂雄,他:医学と薬学 76 (12): 1769 ~ 1780, 2019.
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
抗サイログロブリン抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
甲状腺刺激抗体(TSAb)	保科 元気,他:医学と薬学 79 (8): 1079 ~ 1086, 2022.
TSHレセプター抗体(定量)	小森 明日香,他:医学と薬学 46 (4): 563 ~ 570, 2001.
TSHレセプター抗体(CLEIA)	矢野 美沙紀,他:医学と薬学 77 (5): 793 ~ 804, 2020.
抗GAD抗体	及川 洋一,他:医学と薬学 72 (9): 1551 ~ 1560, 2015.
抗IA-2抗体	川崎 英二,他:医学と薬学 66 (2): 345 ~ 352, 2011.
亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al: Acta Diabetol 51 (3): 429 ~ 434, 2014.
インスリン抗体	内湯 安子,他:医学と薬学 65 (4): 525 ~ 530, 2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田 光照,他:ホルモンと臨床 48 (1): 89 ~ 93, 2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 70 (2): 421 ~ 428, 2013.
抗P/Q型電位依存性カルシウムチャネル抗体(抗P/Q型VGCC抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 77 (7): 1057 ~ 1063, 2020.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

抗デスマグレイン1抗体	吉田 かつり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000, 2013.
抗デスマグレイン3抗体	吉田 かつり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000, 2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田 かつり,他:医学と薬学 70 (5・6):989~1000, 2013.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	白井 丈一,他:医学と薬学 68 (4):697~704, 2012.
精子不動化抗体	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11):N209~N212, 1990.
精子不動化抗体(SI50)	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42 (11):N209~N212, 1990.
ルーブスアンチコアグラント〔APTT凝固時間法〕	後藤 守孝,他:Modern Physician 15 (12):1545~1550, 1995.
ルーブスアンチコアグラント〔希釈ラッセル蛇毒時間法〕	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5):621~626, 2016.
ルーブスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕	藤岡 貴:医学と薬学 73 (5):621~626, 2016.
抗カルジオリピン β_2 グリコプロテイン I 複合体抗体(抗CL $\cdot\beta_2$ GP I抗体)	野島 順三,他:医学と薬学 32 (6):1315~1320, 1994.
抗 β_2 グリコプロテイン I IgG抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4):447~459, 2021.
抗 β_2 グリコプロテイン I IgM抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4):447~459, 2021.
抗カルジオリピンIgG抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4):447~459, 2021.
抗カルジオリピンIgM抗体	小川 昌起,他:医学と薬学 78 (4):447~459, 2021.
抗血小板抗体	柴田 洋一:輸血学(中外医学社):457~470, 1978.
PAIgG(血小板関連IgG)	林 悟,他:臨床病理 32 (11):1253~1257, 1984.
HIT抗体(血小板第4因子 \cdot ヘパリン複合体抗体)	阪田 敏幸:医学と薬学 68 (3):547~555, 2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5):823~828, 2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66 (5):823~828, 2011.
抗LKM-1抗体	竹村 真理,他:医学と薬学 46 (1):109~114, 2001.
免疫複合体(モノクローナルRF)	森 勝志,他:医学と薬学 27 (2):347~354, 1992.
抗アクアポリン4抗体	高橋 利幸,他:医学と薬学 73 (10):1297~1300, 2016.
抗表皮成分自己抗体(直接法)	川生 明:病理と臨床 6 (増):10~13, 1988.

免疫血液学的検査

ABO式 血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1):215~219, 1996.
Rh(D因子)式 血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1):215~219, 1996.
Rh-Hr式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32 (S1):215~219, 1996.
血液型不適合妊娠	支倉 逸人:日本臨牀 26 (2):262~272, 1968.
直接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700, 1993.
間接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700, 1993.
不規則性抗体(抗体同定 \cdot 抗体価測定)	浅井 隆善:医学のあゆみ 167 (9):700, 1993.

免疫グロブリン

IgG	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827, 1998.
IgA	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827, 1998.
IgM	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):823~827, 1998.
IgGサブクラス分画(TIA)	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4):463~470, 2017.
IgG2	川 茂幸,他:医学と薬学 74 (4):463~470, 2017.
IgG4	松木 友里,他:医学と薬学 75 (7):849~858, 2018.
免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26, 1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26, 1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)(DIRA)	McCudden C, et al: Clin Chem Lab Med 54 (6):1095~1104, 2016.
免疫グロブリン遊離 κ/λ 比(フリーライトチェーン)	守田 由香,他:医学と薬学 74 (8):945~950, 2017.
尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26, 1977.
オリコクローナルバンド	佐々木 征治,他:最新電気泳動実験法(医歯薬出版):61~74, 1999.
クリオグロブリン定性	青木 紀生,他:Medical Technology 6 (8):619~624, 1978.

補体および関連物質

血清補体価	中藤 聡子,他:臨床検査機器 \cdot 試薬 19 (4):609~613, 1996.
C3	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):833~837, 1998.
C4	金井 正光,他:臨床検査法提要 第31版(金原出版):833~837, 1998.
C1q	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81, 1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒター活性)	Dick W et al: Immun Infekt 13:113~118, 1985.

血漿蛋白

プレアルブミン	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1):84~88, 2007.
α_1 -マイクログロブリン	中野 卓,他:臨床検査機器 \cdot 試薬 11 (3):469~476, 1988.
α_1 アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81, 1983.
α_1 アシドグリコプロテイン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81, 1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32 (1):84~88, 2007.
α_2 -マクログロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81, 1983.
ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81, 1983.
セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81, 1983.
トランスフェリン	伊藤 忠一:検査と技術 16 (7):593~598, 1988.

検査項目 測定参考文献

尿中トランスフェリン	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 687 ~ 690, 2000.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25 (5): 687 ~ 690, 2000.
β_2 -マイクログロブリン	伊藤 浩治,他:医療と検査機器・試薬 26 (2): 127 ~ 134, 2003.
C反応性蛋白(CRP)定量	小林 咲絵,他:医学と薬学 78 (1): 81 ~ 89, 2021.
ペントラキシン3(PTX3)	Inoue et al: Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27 (1): 161 ~ 167, 2007.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳 広美,他:生物物理化学 37 (1): 19 ~ 23, 1993.
ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37 (5): 1243 ~ 1253, 1997.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田 孝,他:医療と検査機器・試薬 33 (5): 629 ~ 632, 2010.
心室筋ミオシン軽鎖 I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52 (3): 443 ~ 449, 2004.
心筋トロポニンT	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5): 607 ~ 617, 2017.
フェリチン	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29 (5): 493 ~ 497, 2006.
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(CLEIA)	森 さゆり,他:医療と検査機器・試薬 41 (6): 615 ~ 620, 2018.
尿中NGAL	Cullen MR, et al: Ann Clin Biochem 49 (2): 190 ~ 193, 2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al: The New England Journal of Medicine 325 (10): 669 ~ 674, 1991.
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高 好博:医学と薬学 70 (2): 357 ~ 365, 2013.
I型コラーゲンC末端 テロペプチド(I CTP)	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42 (12): 1189 ~ 1193, 1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)	柴田 宏,他:臨床病理 63 (1): 72 ~ 77, 2015.
オートタキシン	宇佐美 陽子,他:医学検査 68 (1): 99 ~ 104, 2019.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)(CLIA)	北原 志穂,他:医学と薬学 72 (9): 1579 ~ 1590, 2015.
尿中Ⅳ型コラーゲン	小幡 賢一,他:臨床検査機器・試薬 18 (3): 439 ~ 444, 1995.
Ⅳ型コラーゲン・7S(CLEIA)	大高木 結媛,他:医学と薬学 77 (5): 785 ~ 792, 2020.
デオキシピリジノリン	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7): 747 ~ 757, 1996.
デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44 (7): 747 ~ 757, 1996.
KL-6	桜庭 尚哉,他:医学と薬学 61 (4): 629 ~ 635, 2009.
プロカルシトニン	小林 一三,他:医学と薬学 73 (4): 459 ~ 467, 2016.

免疫血清学(その他)

β -アミロイド1-42/1-40比	Maria João Leitão, et al: Alzheimers Res Ther 11 (1): 91, 2019.
リン酸化タウ	Maria João Leitão, et al: Alzheimers Res Ther 11 (1): 91, 2019.
タウ蛋白	湯原 麻子,他:医学と薬学 79 (1): 91 ~ 97, 2022.
コクリン-トモプロテイン(CTP)	池園 哲郎: Otology Japan 22 (5): 911 ~ 917, 2012.

サイトカイン

可溶性IL-2レセプター (sIL-2R)	林 圭織,他:医学と薬学 75 (12): 1611 ~ 1620, 2018.
TARC(Th2ケモカイン)	山脇 一恋,他:医療と検査機器・試薬 44 (5): 428 ~ 433, 2021.
IL-4 (インターロイキン-4)(高感度)	Kricka LJ: Clinical Chemistry 37 (9): 1472 ~ 1481, 1991.
インターロイキン-6 (IL-6)	B Prieto, et al: Clin Chem Lab Med 48 (6): 835 ~ 838, 2010.
IL-6 (インターロイキン-6)	竹村 正男,他:医学と薬学 36 (5): 1071 ~ 1076, 1996.
IL-10 (インターロイキン-10)	Groote DD et al: Journal of Immunological Methods 177: 225 ~ 234, 1994.

アレルギー検査

IgE(非特異的IgE)(CLEIA)	榎本 雅夫,他:アレルギーの臨床 23 (1): 62 ~ 66, 2003.
IgE(非特異的IgE)(FEIA)	岩崎 栄作,他:小児科臨床 50 (1): 145 ~ 151, 1997.
特異的IgE(MAST36アレルギー)	中川 武正,他:アレルギーの臨床 26 (3): 238 ~ 242, 2006.
特異的IgE(MAST48mix)	澤崎 健:アレルギーの臨床 38 (12): 1145 ~ 1151, 2018.
特異的IgE(View アレルギー 39)	張田 聖恵:医学と薬学 73 (6): 721 ~ 726, 2016.
特異的IgE(ミックスアレルギー)	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(シングルアレルギー)(CLEIA)	右田 忍,他:医学と薬学 48 (1): 101 ~ 107, 2002.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE (C-PAC16アレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE (C-PAC5アレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(マルチアレルギー)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(シングルアレルギー)(FEIA)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来)	奥田 勲,他:医学検査 46 (10): 1525 ~ 1530, 1997.

細胞性免疫検査

CD34定量	Chen CH et al: Journal of Hematotherapy 3: 3 ~ 13, 1994.
高感度PNH型血球検査	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会:日本臨床検査標準協議会誌 18 (2): 69 ~ 85, 2003.
白血病・リンパ腫解析検査(LLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al: American Journal of Clinical Pathology 100: 534 ~ 540, 1993.
悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲーティング(造血器悪性腫瘍細胞検査)	Borowitz MJ et al: American Journal of Clinical Pathology 100: 534 ~ 540, 1993.
多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, et al: CYTOMETRY 22: 264 ~ 281, 1995.
多発性骨髄腫マルチパラメーターフローサイトメトリー (8color)	Takamatsu H, et al: Int J Hematol 109 (4): 377 ~ 381, 2019.
悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)	HASSERT J, et al: CYTOMETRY 22: 264 ~ 281, 1995.
PHAによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他:臨床検査 23 (7): 660 ~ 667, 1979.
Con-Aによるリンパ球 幼若化検査	笠原 忠,他:臨床検査 23 (7): 660 ~ 667, 1979.

参考文献一覧

検査項目

測定参考文献

薬剤によるリンパ球 刺激試験(DLST)	北見 啓之,他:臨床免疫 15 (9):727~736,1983.
MLC(リンパ球混合培養)	笹月 健彦,他:移植 14 (2):93~113,1979.
T細胞百分率 B細胞百分率	Wauwe JV et al: Immunology 44:865~871,1981.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgG	Ip SH et al: Clinical Chemistry 28 (9):1905~1909,1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgA	Ip SH et al: Clinical Chemistry 28 (9):1905~1909,1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgM	Ip SH et al: Clinical Chemistry 28 (9):1905~1909,1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) IgD	Ip SH et al: Clinical Chemistry 28 (9):1905~1909,1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) K	Ip SH et al: Clinical Chemistry 28 (9):1905~1909,1982.
B細胞表面免疫グロブリン(Sm-Ig) L	Ip SH et al: Clinical Chemistry 28 (9):1905~1909,1982.
モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	Ip SH et al: Clinical Chemistry 28 (9):1905~1909,1982.
IgG-FcR ⁺ ・T細胞百分率	Perussia B et al: The Journal of Immunology 130 (5):2133~2141,1983.
血小板表面マーカー検査 CD41	野村 昌作,他:臨床免疫 19 (8):717~724,1987.
血小板表面マーカー検査 CD42b	野村 昌作,他:臨床免疫 19 (8):717~724,1987.
Th1/Th2 (IFN- γ ×IL-4/CD4)	渋谷 和子:細胞工学 17 (5):807~816,1998.
NK細胞活性	康 浩一,他:Medical Technology 21 (7):574~580,1993.

抗原特異的CTL

サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*0201)	馬場 俊之,他:血液腫瘍科 45 (1):22~27,2002.
サイトメガロウイルス 特異的CTL解析(HLA-A*2402)	馬場 俊之,他:血液腫瘍科 45 (1):22~27,2002.

先天異常の染色体検査

染色体 G-Banding	Seabright M: The Lancet 2:971~972,1971.
染色体 C-Banding	Sumner AT et al: Exp Cell Res 75:304~306,1972.
染色体 Q-Banding	Caspersson T et al: Hereditas 67:89~102,1971.
染色体 高精度分染法	Ikeuchi T et al: Proc Japan Acad 55 (1):15~18,1979.
染色体SKY(先天異常)	Veldman T et al: Nature Genetics 15:406~410,1997.
脆弱X染色体(脆弱X症候群)	Sutherland GR: Science 197:265~266,1977.
1染色体(1p36欠失症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
4染色体(ウォルフ・ヒルシュホーン症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
5染色体(ソトス症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
7染色体(ウイリアムス症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
13染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
13染色体(先天性網膜芽細胞腫RB1)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
15染色体(ブラダーウイリ症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
15染色体(アンジェルマン症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
17染色体(ミラーディカー症候群)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
18染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
21染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
22染色体(22q11欠失)(CATCH22) conotruncal anomaly face 症候群velo-cardio-facial症候群 DiGeorge症候群	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
X染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
X染色体(ステロイドサルファターゼ遺伝子STS)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
Y染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
Y染色体(睾丸決定遺伝子SRY)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
X,Y染色体(身長関連遺伝子SHOX)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
マイクロアレイ染色体検査(染色体構造変異解析)	David T. Miller, et al: Am J Hum Genet. 86 (5):749~764,2010.

白血病や悪性リンパ腫の染色体検査

血液疾患染色体 G-Banding	Seabright M: The Lancet 2 971~972,1971.
染色体SKY(血液疾患)	Veldman T et al: Nature Genetics 15:406~410,1997.
TCF3-PBX1 t(1;19)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
CKS1B 1q21 増幅	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
ALK 2p23転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
GATA2-MECOM inv(3)逆位,t(3;3)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
BCL6 3q27転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
IGH-FGFR3 t(4;14)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
FIP1L1-PDGFR4 del(4) 長腕欠失(4q12欠失)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
CSF1R del(5)長腕欠失	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
EGR1 del(5)長腕欠失	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
PDGFRB 5q32転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
D7S486 del(7)長腕欠失/7染色体(7モノソミー)	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
8染色体	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
MYC 8q24転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
IGH-MYC t(8;14)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.
RUNX1-RUNX1T1(AML1-MTG8) t(8;21)転座	稲澤 譲治:臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社):90~95,1997.

検査項目

測定参考文献

FGFR1 8p11.2転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
末梢血好中球 BCR-ABL1 t(9;22)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
KMT2A(MLL) 11q23.3転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-CCND1(IGH-BCL1) t(11;14)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
NUP98 11p15転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BIRC3-MALT1(API2-MALT1) t(11;18)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
ATM del(11)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
12染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
ETV6-RUNX1(TEL-AML1) t(12;21)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
D13S319 del(13)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-BCL2 t(14;18)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
IGH-MAF t(14;16)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
PML-RARA t(15;17)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
CBFB inv(16)逆位、t(16;16)転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
TP53 del(17)短腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
MALT1 18q21転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
BCL2 18q21転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
del(20)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
X染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
Y染色体	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
異性間BMT(骨髄移植)(X,Y染色体)	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.

固形腫瘍の染色体検査

del(1)短腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
MYCN 2p24増幅	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
del(19)長腕欠失	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.
EWSR1 22q12転座	稲澤 譲治: 臨床FISHプロトコル 阿部達生監修(秀潤社): 90 ~ 95, 1997.

造血器腫瘍遺伝子検査

FLT3/ITD 変異解析	Kiyoi. H, et al : Leukemia 11 : 1147 ~ 1452, 1997.
FLT3変異解析ITD/TKD	Murphy KM, et al : J Mol Diagn 5 (2) : 96 ~ 102, 2003.
NPM1変異解析	Gorello P, et al : Leukemia, 20 (6) : 1103 ~ 1108, 2006.
KIT シーケンス解析(白血病)	E Barragan, et al : Hematologica 89 (8) : 920 ~ 925, 2004.
JAK2V617F遺伝子変異解析	桐戸 敬太,他: 臨床血液 59 (6) : 669 ~ 674, 2018.
MPN遺伝子変異解析	Tsunedomi R, et al : Cancer Science 108 (7) : 1504 ~ 1509, 2017.
MYD88遺伝子変異解析	Kraan W, et al : Blood Cancer J. 3 (9) : e139, 2013.
CD79B遺伝子変異解析	Kraan W, et al : Blood Cancer J. 3 (9) : e139, 2013.
EZH2遺伝子変異解析	Heid CA, et al : Genome Res. 6 (10) : 986 ~ 994, 1996.
白血病キメラスクリーニング(定量)	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
WT1 mRNA定量	宮脇 修一,他: 臨床血液 46 (12) : 1279 ~ 1287, 2005.
Major BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
Major BCR-ABL1 mRNA(IS)	Nakamae H, et al : Int J Hematol 102 (3) : 304 ~ 311, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA(%)	Nakamae H, et al : Int J Hematol 102 (3) : 304 ~ 311, 2015.
Major BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
Major BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray,et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
minor BCR-ABL1 mRNA(%)	J Gabert, et al : Leukemia 17 (12) : 2318 ~ 2357, 2003.
minor BCR-ABL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
minor BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
micro BCR-ABL1 mRNA定性	Kawasaki ES, et al : Proc Natl Acad Sci USA 85 (15) : 5698 ~ 5702, 1988.
minor BCR-ABL1 ABL1変異解析	Arghya Ray,et al : Blood 109 (11) : 5011 ~ 5015, 2007.
TCF3-PBX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
TCF3-PBX1 mRNA定性	Hunger SP et al : Blood 77 (4) : 687 ~ 693, 1991.
PML-RARA mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
PML-RARA mRNA定性	Borrow J et al : Science 249 : 1577 ~ 1580, 1990.
CBFB-MYH11 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
CBFB-MYH11 mRNA定性	Claxton DF et al : Blood 83 (7) : 1750 ~ 1756, 1994.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	Miyoshi H et al : Proc Natl Acad Sci USA 88 (23) : 10431 ~ 10434, 1991.
RUNX1-MECOM mRNA定性	Mitani K et al : The EMBO Journal 13 (3) : 504 ~ 510, 1994.
ETV6-RUNX1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
ETV6-RUNX1 mRNA定性	Shurtleff SA et al : Leukemia 9 (12) : 1985 ~ 1989, 1995.
KMT2A-AFF1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他: SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-AFF1 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.

検査項目

測定参考文献

KMT2A-AFDN mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-AFDN mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-MLLT3 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-MLLT3 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
KMT2A-MLLT1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
KMT2A-MLLT1 mRNA定性	Yamamoto K et al : Blood 83 (10) : 2912 ~ 2921, 1994.
NUP98-HOXA9 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
STIL-TAL1 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定量	飯嶋 健太郎,他 : SRL宝函 24 (1・2) : 65 ~ 68, 2000.
DEK-NUP214 mRNA定性	Soekarman D et al : Blood 79 (11) : 2990 ~ 2997, 1992.

免疫関連遺伝子再構成検査

T細胞レセプター β鎖Cβ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター β鎖Jβ2再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター γ鎖Jγ再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
T細胞レセプター δ鎖Jδ1再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンH鎖JH再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンH鎖Cμ再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖Jκ再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖Cκ再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.
免疫グロブリンL鎖Cλ再構成	村上 龍文,他 : 日本臨牀 47 (増刊号) : 113 ~ 123, 1989.

悪性腫瘍(固形腫瘍)遺伝子検査

BRAF V600E遺伝子解析(rSSO)	Bando H. et al : BMC Cancer 13 : 405, 2013.
BRAF exon15 V600E(SEQ)	日本臨床腫瘍学会 : 大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイドンス 第1版 2008.
EGFR変異解析 v2.0	Benlloch S, et al : PLoS One 9 (2) : e89518, 2014.
EGFR変異解析 v2.0 (血漿)	Benlloch S, et al : PLoS One 9 (2) : e89518, 2014.
EGFR遺伝子 変異解析(Scorpion-ARMS法)	Whitcombe, et al : Nature Biotech 17 : 804 ~ 807, 1999.
ROS1融合遺伝子定性	日本肺癌学会 : 肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
ROS1融合遺伝子定性(FFPE)	日本肺癌学会 : 肺癌患者におけるROS1融合遺伝子検査の手引き 第1.0版 2017年4月6日
EML4-ALK 融合遺伝子定性	Horn L, et al : Journal of Clinical Oncology 27 (26) : 4232 ~ 4235, 2009.
KRAS G12C変異解析	Whitcombe D et al : Nature Biotech 17 (8) : 804 ~ 807, 1999.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FFPE)	Arita H, et al : Brain Tumor Pathol 32 (1) : 22 ~ 30, 2015.
IDH1/2遺伝子解析(グリオーマ)(FF)	Arita H, et al : Brain Tumor Pathol 32 (1) : 22 ~ 30, 2015.
PIK3CA遺伝子変異解析(SEQ)	日本臨床腫瘍学会 : 大腸がん患者におけるKRAS遺伝子変異の測定に関するガイドンス 第1版 2008.
c-kit遺伝子変異解析(GIST)	Alessandra Maleddu, et al : Journal of Translational Medicine 9 : 75, 2011.
RAS・BRAF遺伝子変異解析	Bando H. et al : BMC Cancer 13 : 405, 2013.
RAS遺伝子変異解析(BEAMing)	好岡 美津子 : リキッドバイオプシー 血中腫瘍マーカーの検出・解析技術 第3章 : 1 ~ 8, 2017.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FFPE)	Buhand O, et al : J Clin Oncol. 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.
マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(FF)	Buhand O, et al : J Clin Oncol. 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.
オンコマインDxTTマルチ6遺伝子 CDx(FFPE)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチ6遺伝子 CDx(FF)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチCDx(甲状腺癌)FFPE	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチCDx(甲状腺癌)FF	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチ6遺伝子 研究用46遺伝子(FFPE)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチ6遺伝子 研究用46遺伝子(FF)	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチ研究用(甲状腺癌)FFPE	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
オンコマインDxTTマルチ研究用(甲状腺癌)FF	Meenakshi M, et al : PLoS One 12 (8) : e0181968, 2017.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(3ヵ月以下)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(3~12ヵ月)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(12~24ヵ月)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 IVD(FF)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3ヵ月以下)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(3~12ヵ月)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(12~24ヵ月)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
AmoyDx肺癌マルチパネル7遺伝子 研究用(FF)	Hirsch, F.R. et al : Lancet Oncol 10 (5) : 432 ~ 433, 2009.
肺がんコンパクトパネル CDx	Kato K et al : medRxiv DOI 10.1101/2021.10.13.21264976, 2021.
肺がんコンパクトパネル 研究用	Kato K et al : medRxiv DOI 10.1101/2021.10.13.21264976, 2021.
NCC オンコパネルシステム	Kato M, et al : Genome Med10 : 44, 2018.
FoundationOne CDx がんゲノムプロファイル	Schwaederle M, et al. : Mol Cancer Ther 14 : 1488, 2015.
FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル	Ryan Woodhouse et al. : PLoS One 15 (9) : e0237802, 2020.
Guardant360 CDxがん遺伝子パネル	Odegaard J I, et al : Clin Cancer Res 24 (15) : 3539 ~ 3549, 2018.
myChoice診断システム	Melinda L. Telli, et al : Clin Cancer Res22 (15) : 3764 ~ 3773, 2016.

検査項目

測定参考文献

生殖細胞系列遺伝子解析(抗悪性腫瘍薬適応判定用)

BRCA1/2遺伝子検査(乳癌)	Baretta Z, et al : Medicine 95 (40) : e4975, 2016.
BRCA1/2遺伝子検査(卵巣癌)	Baretta Z, et al : Medicine 95 (40) : e4975, 2016.
BRCA1/2遺伝子検査(HBOC)	Baretta Z, et al : Medicine 95 (40) : e4975, 2016.
BRCA1/2遺伝子検査(肺癌)	Baretta Z, et al : Medicine 95 (40) : e4975, 2016.
BRCA1/2遺伝子検査(前立腺癌)	Baretta Z, et al : Medicine 95 (40) : e4975, 2016.
BRCA1/2遺伝子シングルサイト検査	Baretta Z, et al : Medicine 95 (40) : e4975, 2016.

遺伝学的検査

マイクロサテライト不安定性(MSI)検査(リンチ症候群)	Buhand O, et al : J Clin Oncol 24 (2) : 241 ~ 251, 2006.
RET遺伝子変異解析(甲状腺腫瘍)	Kihara M, et al : Auris Nasus Larynx 43 (5) : 551 ~ 555, 2016.
RETシングルサイト解析	Kihara M, et al : Auris Nasus Larynx 43 (5) : 551 ~ 555, 2016.
SNRPN遺伝子解析(メチレーションPCR)ブラダー・ウィリ症候群 アンジェルマン症候群	Kenjiro K, et al : Am J Med Genet. 73 (3) : 308 ~ 313, 1997.
PRRT2遺伝子変異解析	Ono S, et al : J Hum Genet 57 (5) : 338 ~ 341, 2012.
TTR遺伝子解析(家族性アミロイドーシス)	Booth DR, et al : Circulation. 91 (4) : 962 ~ 967, 1995.
MECP2遺伝子(exon3,4)変異解析	Thierry Bienvenu et al : Human Molecular Genetics 9 (9) : 1377 ~ 1384 , 2000.
ZEB2遺伝子解析(モット・ウィルソン症候群)	Yamada Y, et al : Am J Med Genet A. 164A(8) : 1899 ~ 1908, 2014.
TACSTD2遺伝子解析(角膜ジストロフィー)	Nagahara Y, et al : Hum Genome Var. 6 : 33, 2019.
ジストロフィンDNA	Lai KKS et al : Clin Biochemistry 39 (4) : 367 ~ 372, 2006.
福山型筋ジストロフィー DNA 挿入	Watanabe M et al : American Journal of Medical Genetics 138A : 344 ~ 348, 2005.
青髄小脳変性症 遺伝子解析	石毛 崇之,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 39 (2) : 250 ~ 256, 2014.
先天性QT延長症候群遺伝子解析	Fujiki R, et al : J Mol Diagn/pii : S1525-1578 (17)30554-8 : Jun 25, 2018.
MEFV遺伝子解析(家族性地中海熱)	The International FMF Consortium Cell. 90 (4) : 797 ~ 807, 1997.
HTT遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al : Nature 352 : 77 ~ 79, 1991.
アンドロゲンレセプター遺伝子CAG反復配列解析	La Spada A. R, et al : Nature 352 : 77 ~ 79, 1991.
Y染色体微小欠失 (AZF欠失)	Masashi Iijima, et al : Int J Urol. 21 (9) : 910 ~ 916, 2014.

薬剤応答遺伝子検査

IL28B SNPs 解析	Ito K, et al : J Clin Microbiol 49 : 1853 ~ 1860, 2011.
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP2C19遺伝子多型解析	平塚 真弘 : 薬学雑誌 122 (7) : 451 ~ 463, 2002.
UGT1A1遺伝子多型解析	森 篤雄,他 : Bio Clinica 23 (7) : 643 ~ 648, 2008.
NUDT15遺伝子codon 139多型解析	Moriyama T, et al : Nat Genet, 48 (4) : 367 ~ 373, 2016.

移植関連遺伝子検査

HLA DNAタイピング(NGS-SBT法)	中條 聖子 : 臨床病理レビュー 164 : 132 ~ 139, 2020.
HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英 : MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他 : MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-DRB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DPB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他 : MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
抗HLA抗体(スクリーニング検査)	日本組織適合性学会 認定制度委員会 : QCWS参考プロトコル 抗体検査(LABScreen)平成29年度版.
フローサイトクロスマッチ(リンパ球交差試験)	石塚 敏 : 日本組織適合性学会誌 20 (2) : 121 ~ 129, 2013.
キメリズム解析移植前レシピエント(PCR)	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
キメリズム解析移植前ドナー (PCR)	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.
キメリズム解析移植後(PCR)	白濱 秀也,他 : SRL宝函 26 (1) : 71 ~ 76, 2002.

尿一般検査

尿中一般検査	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 99 ~ 105, 1993.
--------	---

糞便検査

便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定性(金コロイド法)	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定量(金コロイド法)	加藤 節子,他 : 医療と検査機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
消化状態	金井 泉,他 : 臨床検査法提要 第30版(金原出版) : 179 ~ 182, 1993.

検査項目

測定参考文献

微生物学的検査

一般細菌 (塗抹鏡検、培養同定、嫌気性培養、感受性検査、尿中生菌数定量、目的菌、環境検査、便検診検査)	Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.1. Williams & Wilkins, 1984. Krieg NR, et al : Bergey's Manual of Systematic Bacteriology vol.2. Williams & Wilkins, 1986. 小酒井 望 : 臨床検査技術全書 7 微生物検査 初版 医学書院, 1974. 微生物検査必携 細菌・真菌検査(厚生省監修) 第3版 財団法人日本公衆衛生協会, 1987. CLSI M100 : Performance Standards for Antimicrobial Susceptibility Testing 30th Edition, 2020. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1989年) : Chemotherapy 38 (1) : 102 ~ 105, 1990. 抗菌薬感受性測定法検討委員会報告(1992年) : Chemotherapy 41 (2) : 183 ~ 190, 1993. 三原 利仁,他 : 臨床と微生物 23 (2) : 249 ~ 254, 1996. 川上 小夜子,他 : 日本臨床微生物雑誌 12 (2) : 86 ~ 92, 2002. Clinical Microbiology Procedures Handbook-4th edition, 2016. 永沢 善三,他 : 日本臨床微生物雑誌 第27巻 : 臨床微生物質量分析計検査法ハンドブック : 5 ~ 40, 2017. 後藤 陽一郎,他 : 検査と技術 21 (13) : 1061 ~ 1066, 1993. 日本化学療法学会抗菌薬感受性測定委員会,ヘリコバクターピロリ委員会:日本化学療法学会誌 50 (1):54 ~ 58, 2002.
ヘリコバクター培養同定・感受性検査	蔵田 訓,他 : 臨床と微生物 37 (5) : 465 ~ 470, 2010. Limaye P. A. et al : J. Clin. Microbiol. 38 (4) : 1696 ~ 1697, 2000.
CDトキシン(GDH)	松浦 成美,他 : 医学検査 67 (4) : 451 ~ 455, 2018.
CDトキシンB遺伝子 定性	鈴木 匡弘 : THE CHEMICAL TIMES 221 (3) : 16 ~ 21, 2011.
POT法(黄色ブドウ球菌)	日本結核病学会 抗酸菌検査法検討委員会 : 抗酸菌ガイド2016. 小栗 豊子,編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011.
抗酸菌(塗抹、分離培養、結核菌群抗原、薬剤感受性)	小栗 豊子,編 臨床微生物検査ハンドブック 第4版. 三輪書店, 2011.
抗酸菌同定(質量分析)	大楠 清文,他 : 抗酸菌検査ガイド 2016 : 60 ~ 65, 2016.
結核菌群核酸同定(TRC)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.
MAC核酸同定(TRC)	田村 卓,他 : 日本臨床微生物学雑誌 18 (1) : 15 ~ 19, 2008.

培養同定検査

ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	Wakefield AE et al : The Lancet 336 : 451 ~ 453, 1990.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口 恵三,他 : 医学と薬学 58 (4) : 565 ~ 571, 2007.
レジオネラDNA 定性	山口 恵三,他 : 医学と薬学 58 (4) : 565 ~ 571, 2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K,et al : J Clin Microbiol 44 (5) : 1899 ~ 1902, 2006.
赤痢アメーバDNA 定性	Tachibana H,et al : J Infect Dis 164 (4) : 825 ~ 826, 1991.
淋菌DNA	熊本 悦明,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本 悦明,他 : 医学と薬学 66 (6) : 1007 ~ 1014, 2011.
腔トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出	Van Der Pol B, et al : JCM 59 (10) : e00264-21, 2021. (腔トリコモナス) Van Der Pol B, et al : JCM 58 (6) : e02124-19, 2020.(マイコプラズマジェニタリウム)
ウイルス分離	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.
ウイルス同定	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook : 3 ~ 20, 1973.

細胞診検査

細胞診(婦人科LBCベセスダシステム)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(婦人科ベセスダシステム)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(婦人科LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
細胞診(尿LBC)	Strander B et al : Cancer 111 (5) : 285 ~ 291, 2007.
膀胱癌FISH(ウロビジョン)	Sarosdy MF, et al : J Urol 168 (5) : 1950 ~ 1954, 2002.

病理組織検査

病理標本作製(一般材料)	日本臨床衛生検査技師会 : 病理検査技術教本(丸善出版) : 2017.
病理標本作製(手術材料)	日本臨床衛生検査技師会 : 病理検査技術教本(丸善出版) : 2017.
CD30(IHC)	長塩 亮,他 : 病理と臨床 32 (臨増) : 12 ~ 18, 2014.
悪性リンパ腫ALKタンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
エストロゲンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
エストロゲンレセプター/プロゲステロンレセプター (IHC)	Layfield LJ et al : Journal of Surgical Oncology 61 : 177 ~ 184, 1996.
乳癌HER2タンパク(IHC)4B5	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
乳癌HER2/neuタンパク(染色法)	谷 洋一 : Pharma Medica 18 (8) : 87 ~ 92, 2000.
乳癌HER2遺伝子(FISH)	D. L. Persons, et al : Ann Clin Lab Sci 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
乳癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
胃癌HER2遺伝子(FISH)	D. L. Persons, et al : Ann Clin Lab Sci 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
胃癌HER2タンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 136 ~ 143, 2002.
胃癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
大腸癌HER2タンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 137 ~ 149, 2002.
大腸癌HER2遺伝子(FISH)	D. L. Persons, et al : Ann Clin Lab Sci 30 (1) : 41 ~ 48, 2000.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
食道癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
子宮頸癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.
MMRタンパク(IHC)	名倉 宏,他 : 渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画) : 147 ~ 150, 2002.

検査項目	測定参考文献
MMRタンパク(IHC)(リンチ症候群)	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
BRAF V600Eタンパク(IHC)	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP142	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌 PD-L1タンパク(IHC)SP263	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌ALKタンパク(高感度IHC)	竹内 賢吾,他:臨床検査 57 (3):271~276,2013.
肺癌ALKタンパク(IHC)D5F3	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
肺癌ALK遺伝子(FISH)	Scott J. Rodig, et al: Clinical Cancer Research 15 (16):5216~5223,2009.
メラノーマ PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)22C3	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
頭頸部癌PD-L1タンパク(IHC)28-8	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
CCR4タンパク(IHC)	名倉 宏,他:渡辺・中根 酵素抗体法 改訂四版(学際企画):147~150,2002.
総合解析検査	
悪性リンパ腫 総合解析検査[ML-NET]	菊池 昌弘: Medical Technology 28 (2):114~121,2000.
リスク検査	
男性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24:683~691,2010.
女性AIRS(認知機能評価あり)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24:683~691,2010.
男性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24:683~691,2010.
女性AIRS(認知機能評価なし)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24:683~691,2010.
男性AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24:683~691,2010.
女性AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24:683~691,2010.
免疫関連検査	
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	Ohta M, et al: Clinical Chemistry 46 (9):1326~1330,2000.
自己免疫機能検査	
TSBAbs(TSHレセプター抗体[阻害型])(Bioassay)	保科 元気,他:医学と薬学 80 (1):101~113,2023.
その他特殊検査	
亜硝酸/硝酸イオン	Green LC et al: Analytical Biochemistry 126:131~138,1982.
レプチン	鈴木 茂夫,他:Bio Clinica 13 (12):1049~1052,1998.
総タウ蛋白(AD)	湯原 麻子,他:医学と薬学 79 (1):91~97,2022.
高分子量アディポネクチン(CLEIA)	折津 政江,他:医学と薬学 62 (5):891~898,2009.
PGE-MUM(CLEIA)	森山 和重,他:医学と薬学 77 (3):393~401,2020.
PCDHB DNAメチル化解析	近藤 豊:パイロシーケンス法, 実験医学別冊 エピジェネティクス実験プロトコール:77~91,2008.
miR34b/c DNAメチル化解析	近藤 豊:パイロシーケンス法, 実験医学別冊 エピジェネティクス実験プロトコール:77~91,2008.
自己抗体検査	
抗皮膚抗体	吉岡 順子:皮膚 23 (1):29~54,1981.
抗ヒストン抗体	Burlingame RW et al: The Journal of Clinical Investigation 88:680~690,1991.
抗ランゲルハンス氏島抗体(ICA)	Bonifacio E et al: The Lancet 355:147~149,1990.
抗好中球抗体	Lalezari P et al: Manual of Clinical Laboratory Immunohematology 4th Ed:344~350,1992.
抗プロトロンビン抗体	鍋木 淳一,他:医学と薬学 47 (5):813~819,2002.
補体系検査	
C1エステラーゼ抑制因子定量	Tietz NW et al: Clinical Guide to Laboratory Tests 3rd Ed:156~159,
癌関連検査	
オンコタイプDX乳がん再発スコアプログラム	Cronin M, et al: Clin Chem 53 (6):1084~1091,2007.
神経・筋疾患検査	
ミエリン随伴性糖蛋白(MAG)自己抗体	McGinnis S et al: Journal of Neuroimmunology 17:119~126,1988.
LHONミトコンドリアDNA Evaluation	Santorelli FM et al: Neurology 44 (5):972~974,1994.
腫瘍関連検査	
Ri自己抗体	Andersson, P, et al: Anal. Chem. 79 (11):4022~4030,2007.
Hu自己抗体	Andersson, P, et al: Anal. Chem. 79 (11):4022~4030,2007.
Yo自己抗体	Andersson, P, et al: Anal. Chem. 79 (11):4022~4030,2007.
腫瘍随伴性レチノブシン (CAR)自己抗体	Andersson, P, et al: Anal. Chem. 79 (11):4022~4030,2007.